

愛に満ちたおばさん



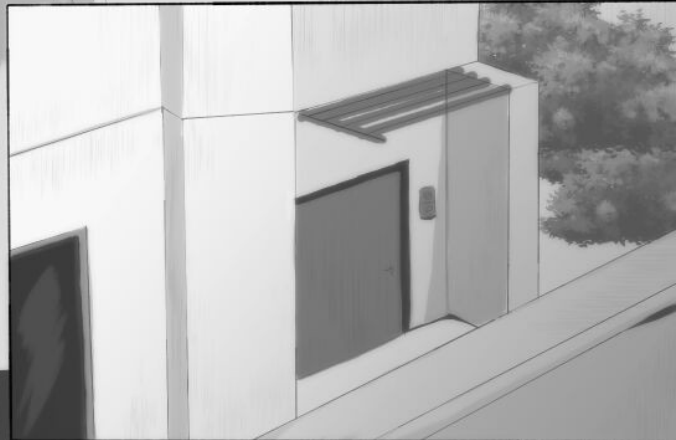


愛に満ちたおばさん



しかし、学矯の近くに部屋を借りるのは難しい。

私は大学生で、最近もうすぐ学矯が始まります。



地図に従ってやっと目的地に着いた。



幸いしばらくは親戚の家に住むことができます。

正直に言うと、心の中は少しでこぼこしています。

おばさんとは長い間会っていないので、あまり知らないのではないのでしょうか。

子供の頃の記憶の家、
玲子おばさんの家



ドアを開けたのは玲子おばさんで、
相変わらずきれいです。

やっと来ました。
おばさんはさつきまで心配していました。

そうだ、先に入って、
自分の家はそんなに遠慮
しなくてもいいと思ってください。

こんにちは、
玲子おばさん。

はい、お邪魔します。



部屋は2階です。

粗末ですが、光がいいです。

ほら、遠くの景色も見えます。

あ？

聞いてるの？

ごめん ..
ごめん ..

おばさんが何を言
っているのかよく聞こえなかったが、
目の前のおばさんの大きなお尻に深く惹か
れたからだ。



玲子おばさんが帰った後、
私は荷物を整理し始めた。

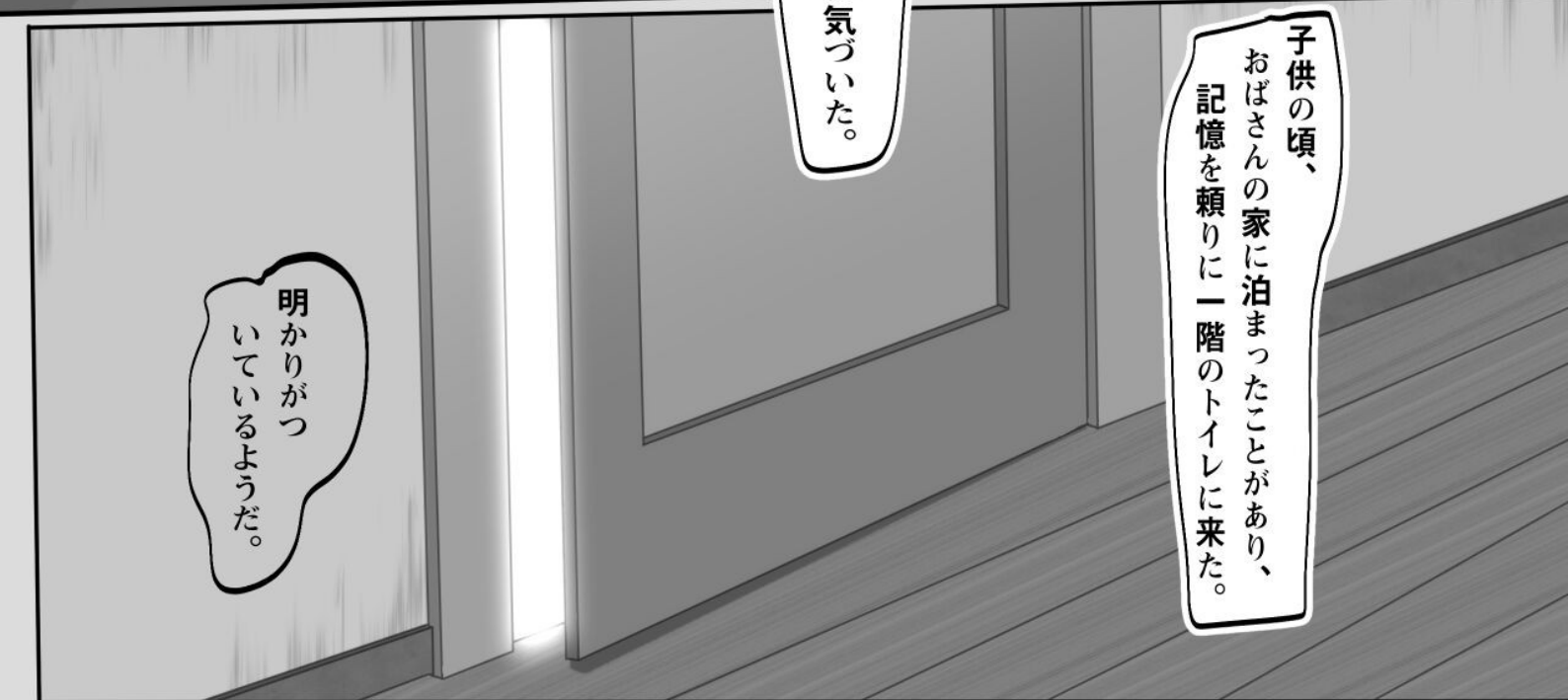
そうだ、何か必要なものがあつた
ら私を呼んで、
おばさんは先に階下
に行つて夕食の準備をします。



はい！



部屋に馴染んだ後、
トイレに行く必要があることに気づいた。



明かりがつ
いているようだ。

子供の頃、
おばさんの家に泊まったことがあり、
記憶を頼りに一階のトイレに来了。



玲子おばさんはトイレにいて、
しかも下着しか着ていない様子だ。



しばらく離れるのを忘れて、
おばさんの大きな胸を見ていた。

ごめんなさい！
ごめんなさい！
ごめんなさい！



夕食後、玲子おばさんと
一緒にテレビを見ていました。

おばさんは前の気
まずいシーンを忘れたようだ。

とにかくちゃんと謝って

どうしたの？
おばさんをじろじろ見ると

おばさん、
さっきのことはごめんなさい。



触
つて
み
て♡

お
お
お
ば
ち
ゃ
ん
...

ない事、
おばさんは綺麗で
胸も柔らかいです！

おばさんの
体を嫌
つて
い
ま
せ
ん
か？

胸のせいですか...

痴漢はおばさんを見つめている。

いかがでしたか♡♡



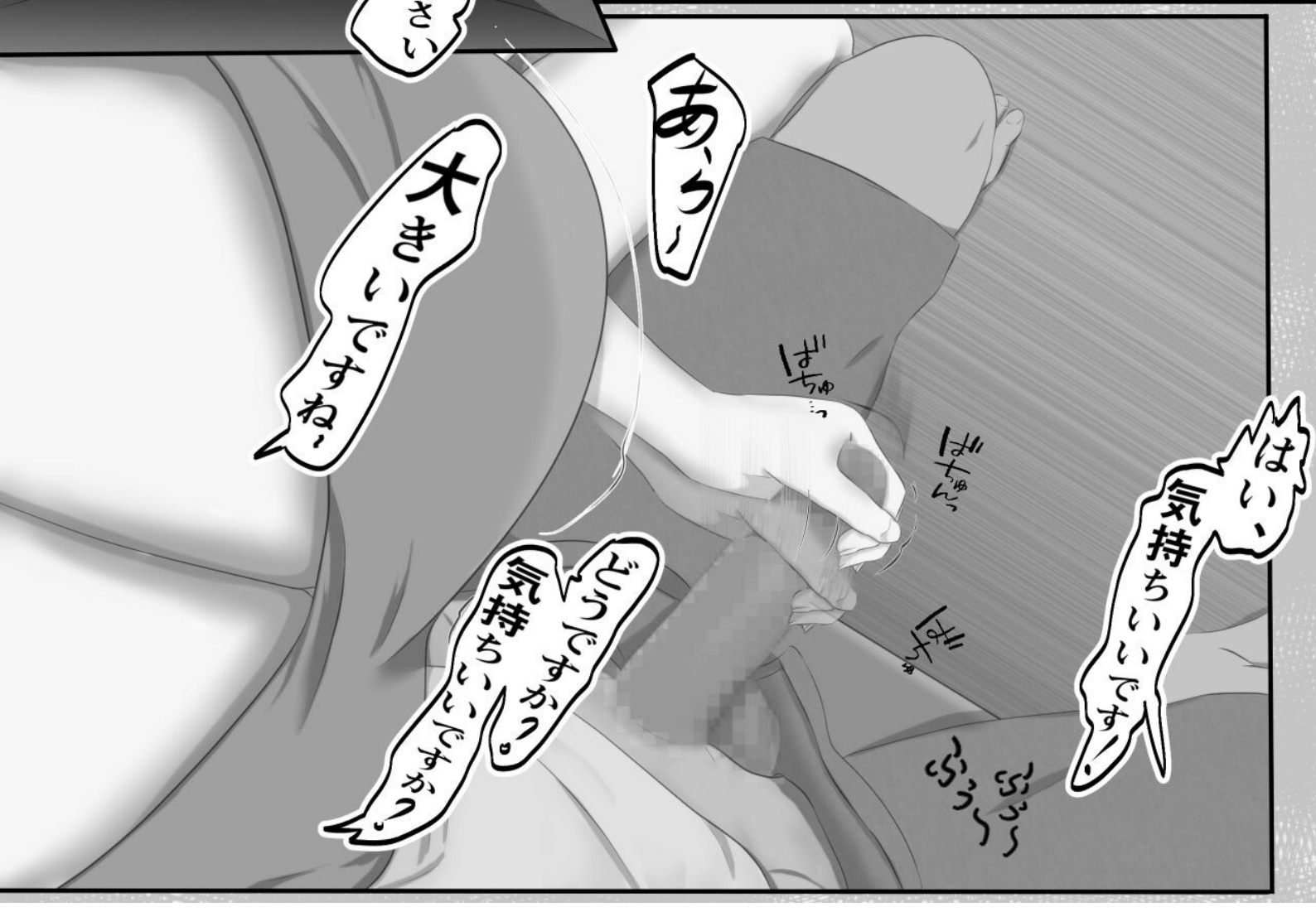
それなら

おばさんと
楽しいこと
をしたいですか？

はい、
とても思います

ふふ、
もう硬いですね

おばさんに見せてください



あら

大きい
ですね

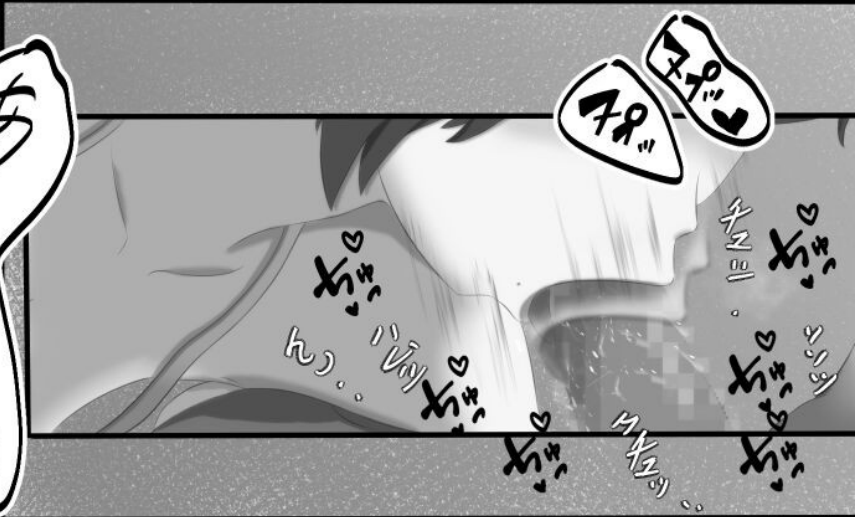
えっ！
気持ちいいですね

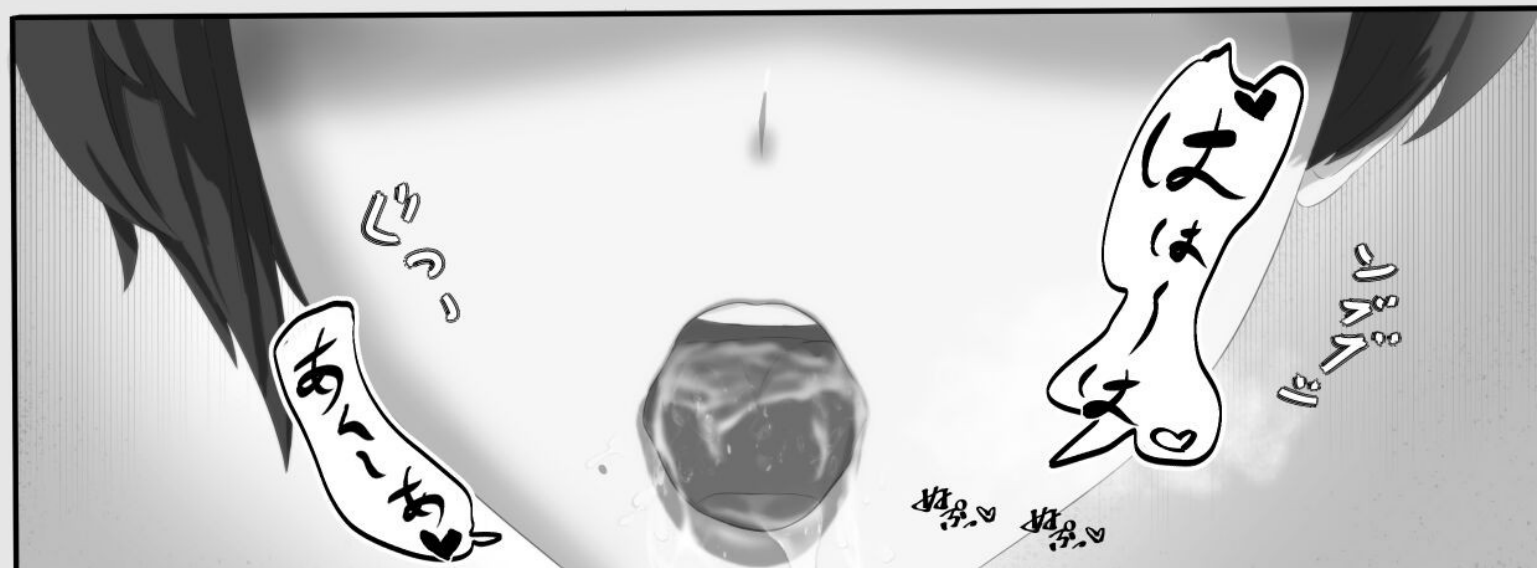
はい、
気持ちいいですね

はっ！

はっ！

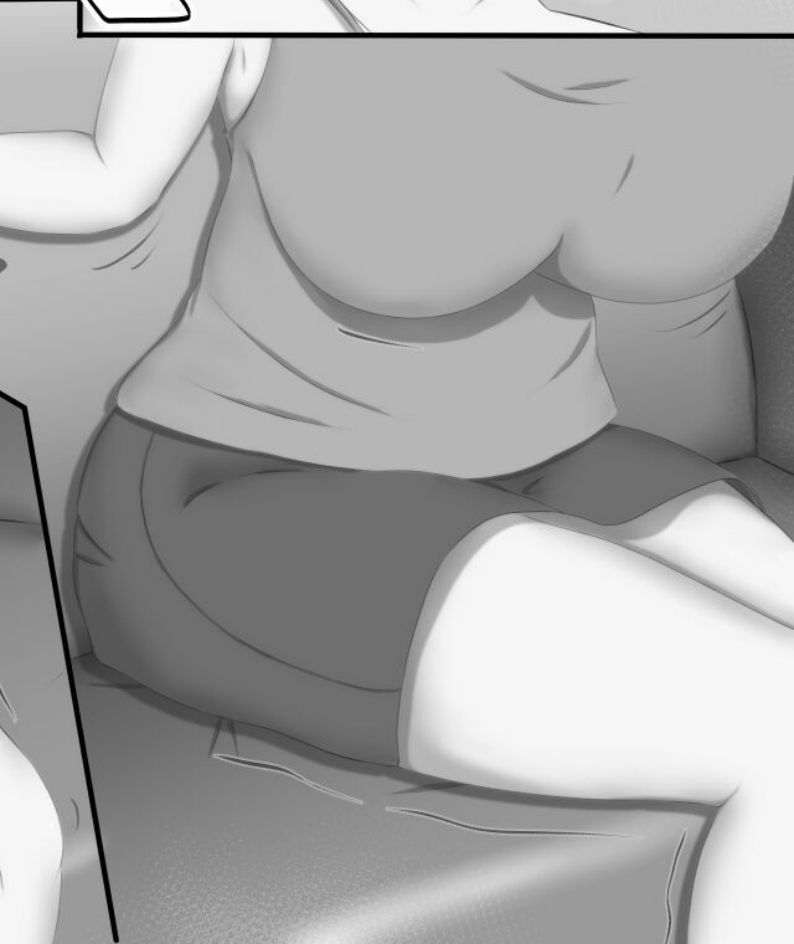
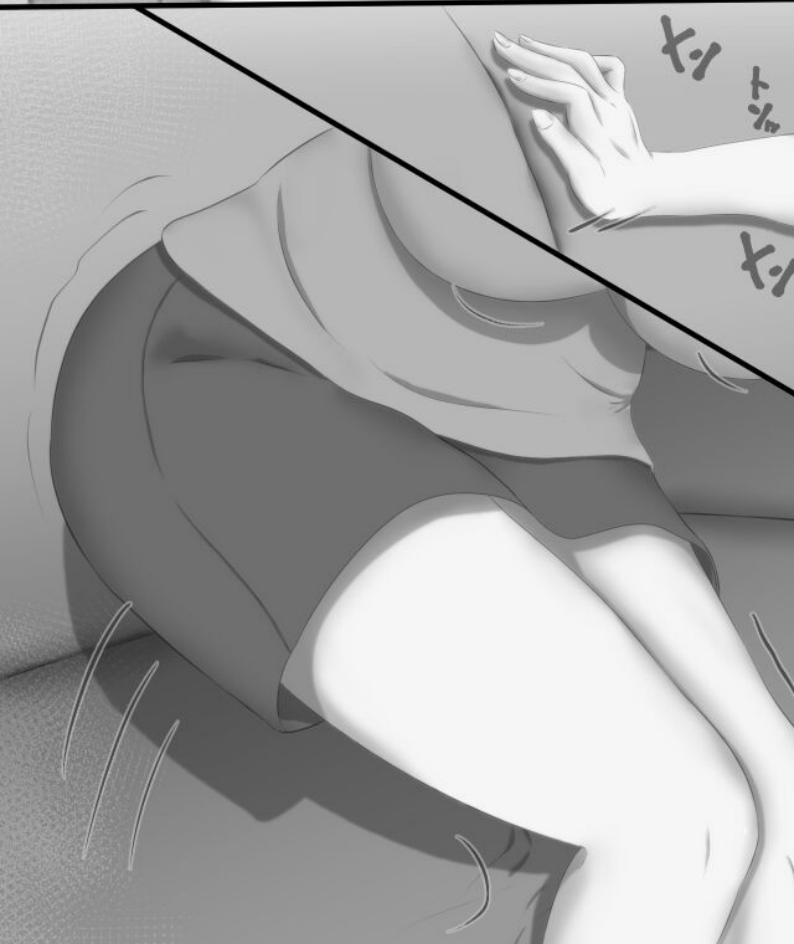
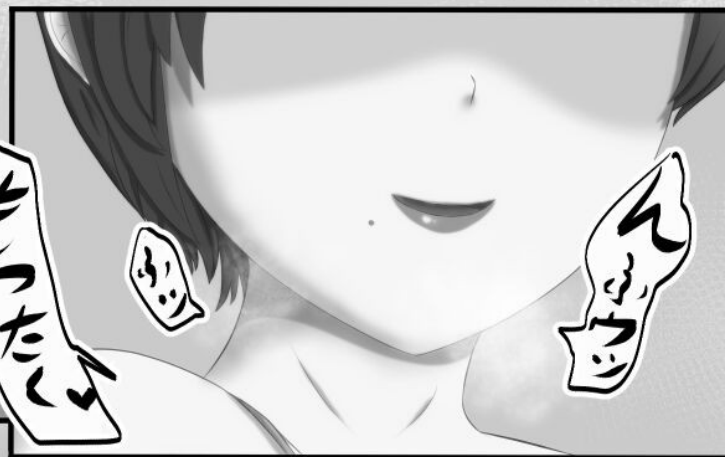
はっ！







ああ、まだ硬い。

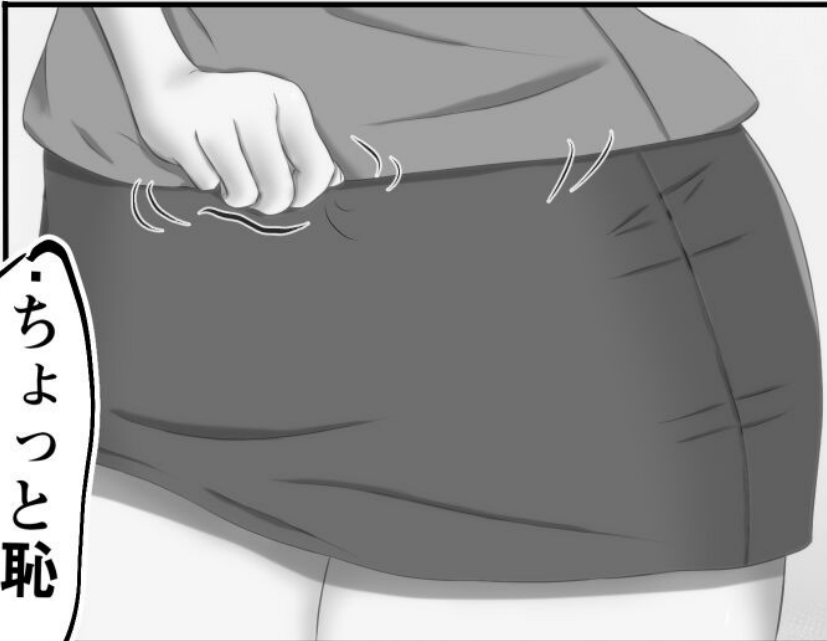




やっぱり…

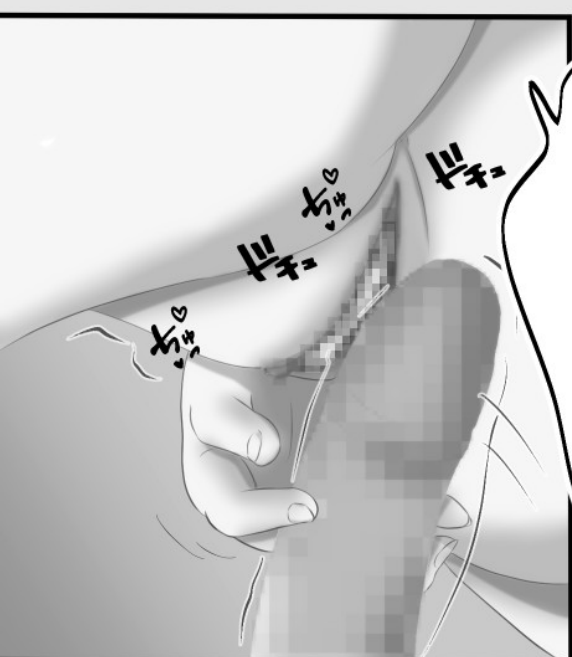
ちよつと恥
ずかしかったです

ふふふふ



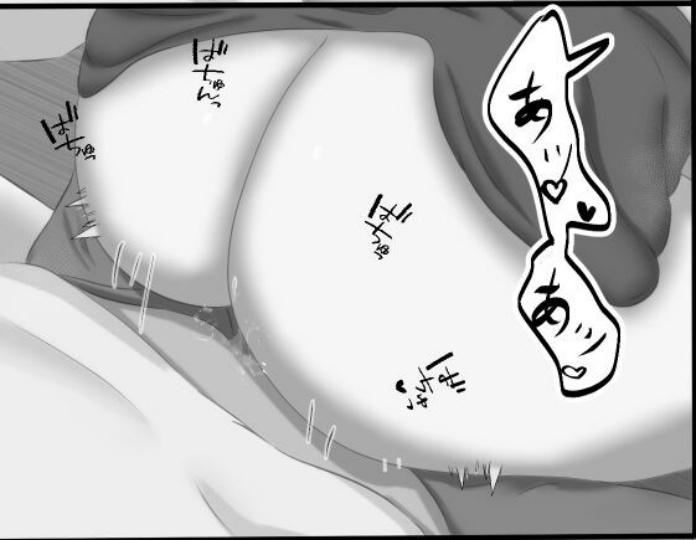
仕方ないの
でここを
試してみます



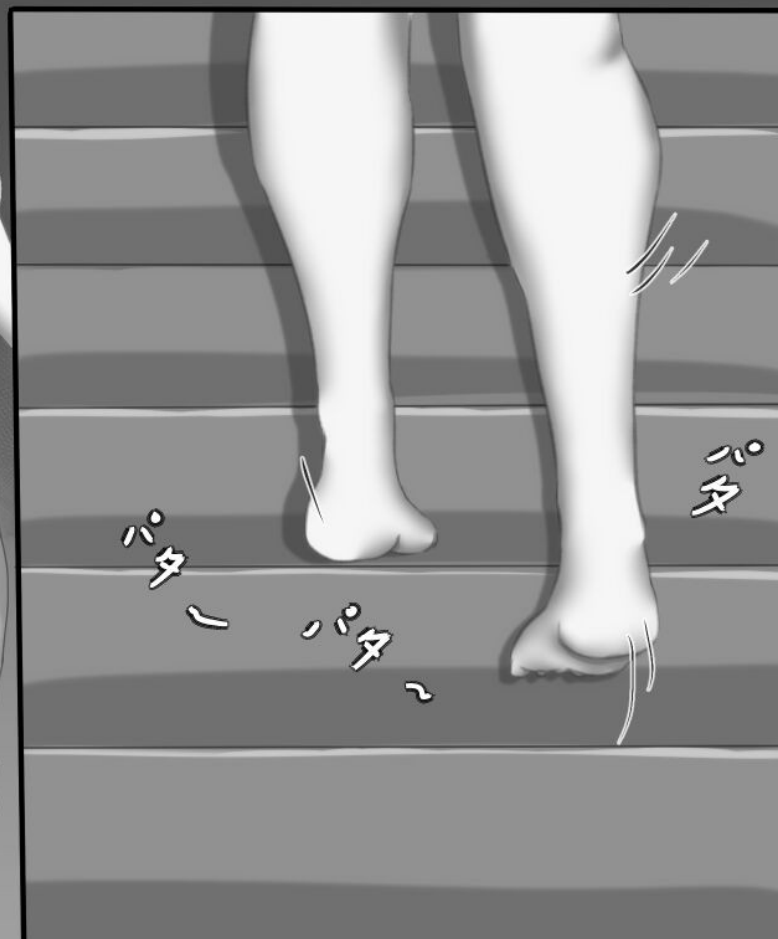


お手伝いしましょう♡









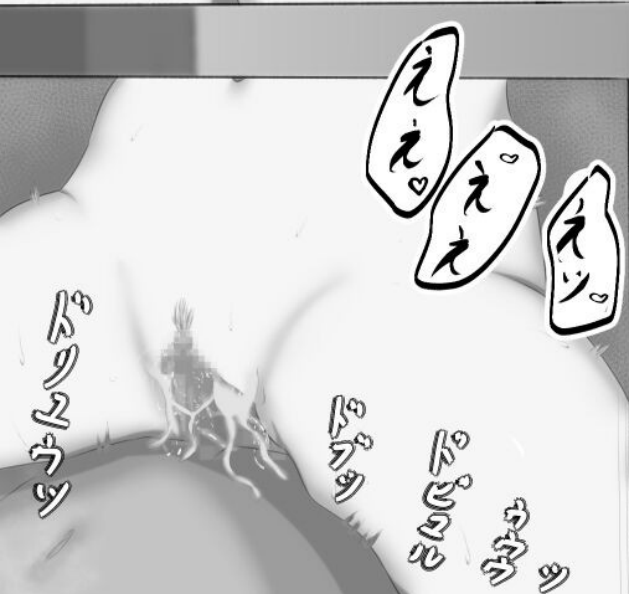
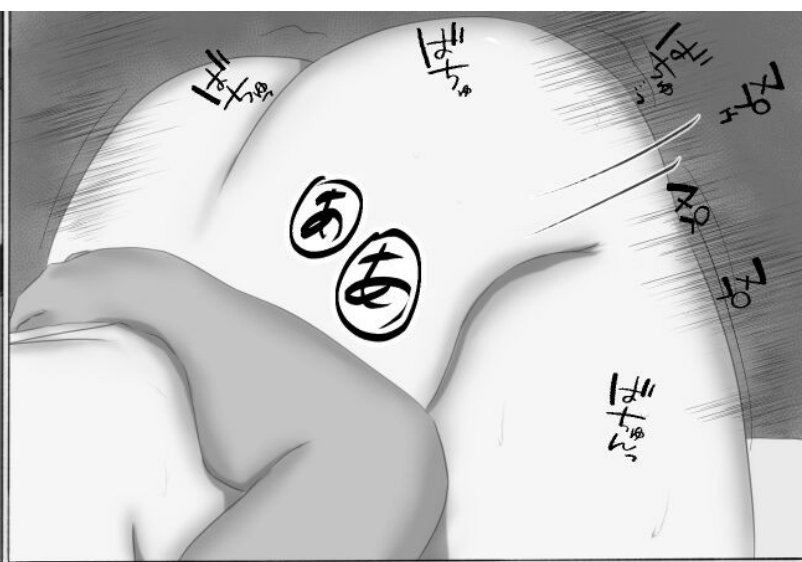
ポンっ

服を脱いでベッドに横になりなさい

ほほ
ほほ

今夜
はおばさんに楽しん
でもらいましょう。

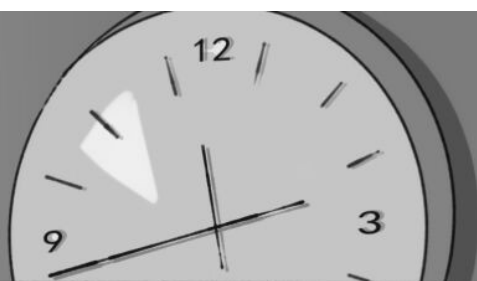




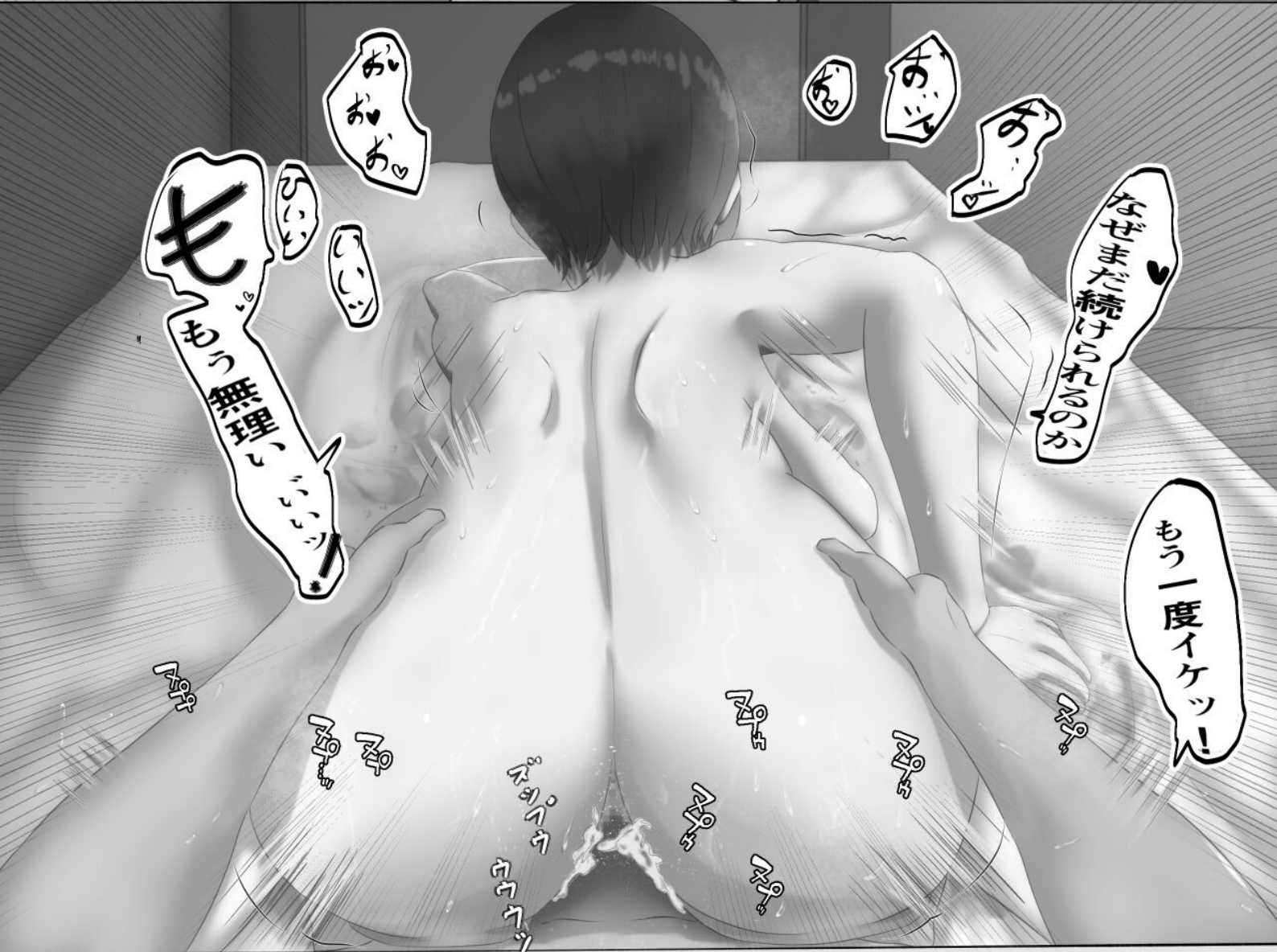


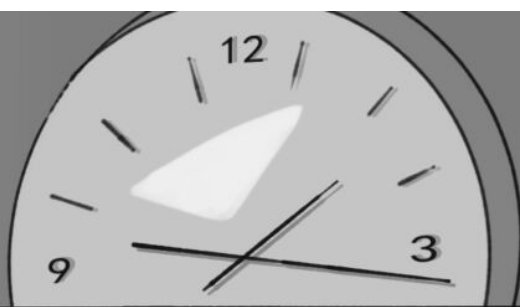




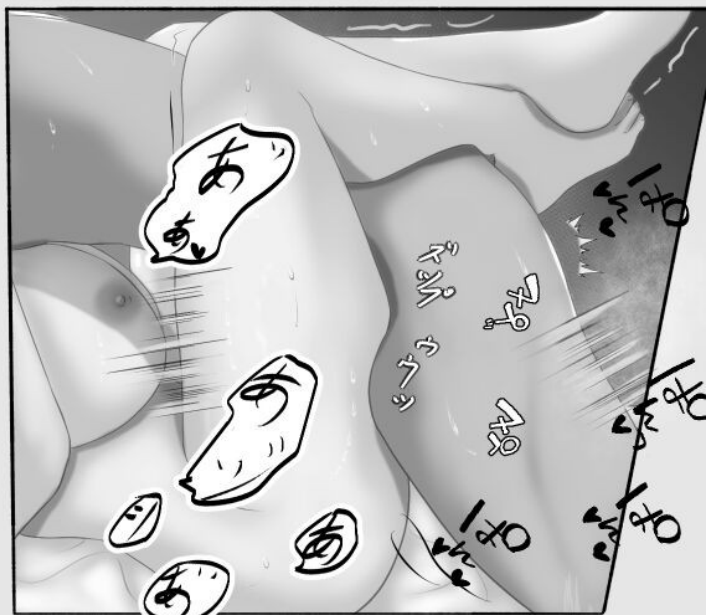


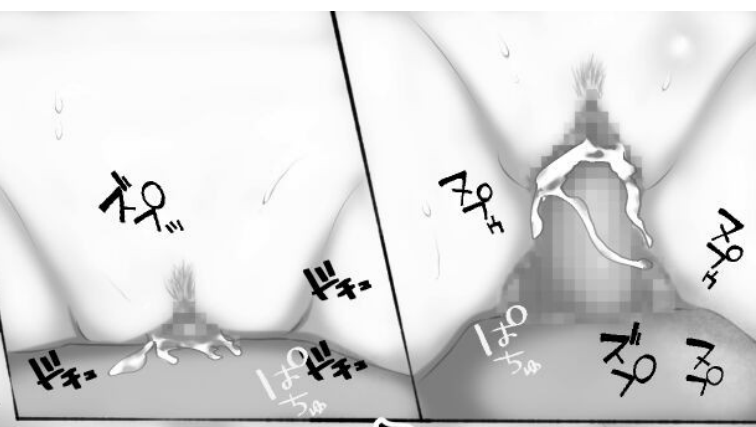
はち はち はち





はち
はち
はち









感謝

初めての作品で、

色々と質問が多いので、大目に見てください。

描き始めは新作のシリーズに心を集中していたので、
無駄がないように今回を手練として描き続けました。
経験を踏まえて次のシリーズは誠心誠意作ります。

シリーズの概要を言うと、

実はずっと異世界の風俗店、

純粋なMMXを知りたいと思っていたので、

これに対してリアリティを高めてみます。

そうしよう！

新作

